

## 冬期講習概要

### 冬期講習のねらい

1学期から2学期に履修した内容を前提として、3学期と次の学年につなげるための重要な分野にフォーカスし、集中講義・演習を実施します。冬期講習では、**各学年・クラス別に、冬期講習のために練りに練って作成した、完結型の西荻塾オリジナルテキストを用いて徹底した講義・演習を行います。**なお、冬期講習会は、原則として、**完結型のカリキュラムを編成していますので、通常授業を受講されていない場合にも、無理なくご参加いただけます。**

また、これに加え、**各自の日常学習方法を見直す契機として、さらには基礎力（計算力・語彙力・英文法など）を磨くための自習用ドリル冊子を各学年・クラス毎に配布します。**

2023年と2024年をまたぐこの季節、「まとめ」と「はじまり」の冬で、自身の学力に磨きをかけ、目標にむけて確かな一歩を踏み出す年の始まりを迎えてください。

■冬期講習は、120分授業にて開講いたします。年末年始期間につきましては、高2・高3生は、所定の手続きを経て自習室は毎日利用できますので、積極にご利用ください。

授業日・授業時間
12月23日～1月10日 ※12月30日～1月3日はありません。 講習期間中は、120分授業です。

- 参加クラスは、面談と体験授業を実施のうえ決定いたします。
- 詳細な時間割は、上記確定の際にお知らせいたします。
- 受講生は、自習室は午前10時から午後10時まで利用できます。

時限	講義・授業時間帯
1	10:00～12:00
業間	—
2	12:30～14:30
3	14:45～16:45
4	17:00～19:00
5	19:15～21:15

## 講座内容紹介

各講座とも4回の授業を実施します（一部、理社科目については2回）。各講座の授業回数については、科目名の下部に記載した必要回数をご確認ください。時間割については、塾生のスケジュールを考慮の上設定し、改めてご連絡いたします。それぞれ志望系統、志望校（私立、国公立の別を含む）別にクラス分けを実施します。

### 高校2年生向け講座

開講科目	講義内容
英語 (計4回)	本格的に入試対策に取り組むにあたって、文法・単語等知識のまとめと読解のトレーニングを実施します。文法は高2のうちに仕上げるための道筋を作ります。読解ではマーク式または国公立の記述問題に取り組み、日常の学習方法を身につけてもらいます。英語は短期間に徹底して取り組む時間を作ることで力を伸ばせます。この冬がそこに時間を掛けられる絶好の機会です。
数学 (計4回)	現時点では、入試で勝敗を分ける、理文ともに絶対を外せない分野（数列・微積分）に焦点を当てて授業を実施します。断言します。この講習で、模試は見違えます。そして、差が付きます（付かせます）。向かい合えば、そもそも面白いし、得点源にも出来る分野です。冬期受講者向けに別途配布する西荻塾代表書き下ろしの計算問題集とともに、数学に磨きをかけてください。
国語 (4回) 現代文・古典 両方を取り扱います	【現代文】共通テスト同日体験及び模擬試験で「現代文はこういう風に点を取るのか!」という切符を授けます。スコアが目に見える形で皆さんの不安にお応えします。国公立志望者は旧帝大レベルの問題、私大志望者は難関私大の問題を利用して、読解手法から解答の指針まで、エッセンスが凝縮した授業を行います。 【古典】過去10年分の難関入試問題から抜粋した、入試問題西荻塾オリジナルの古典100構文準備しています。この構文は、必須文法・必須単語もなるべく多数盛り込むように工夫して作成しています。こちらを完璧に現代語訳できるようになれば、まず点は出ます。何度でも徹底して潰してください。
理科 (化学・物理) 本年度東大クラス担当者が担当	【物理】力学分野を中心に、運動方程式を使いこなすことが目標です。4回の授業でがっちり物理の入試問題と戦うための基盤を整えます。 【化学】理論化学で差がつく分野（質量計算、酸化還元など）を中心に、しっかりとした演習・計算力を養成します。入試問題が解ける、という水準まで集中的に鍛え上げます。

<b>社会</b> <b>(日本史・世界史)</b> <small>本年度東大クラス担当者が担当</small>	<p>【日本史】【世界史】主に、古代～中世の社会経済史・政治史を中心に、総まとめを実施。普段、なかなか意識的に出来ない演習を取り入れ、社会ではこう点を取る、というエッセンスを凝縮。国立志望者には、短文論述を導入します。</p> <p>※世界史か日本史をご選択ください(両科目も可能です)。なお、学校の進捗により、扱う内容は受講生に合わせて変更する場合があります。</p>
--	---

### 高校1年生向け講座

開講科目	講義内容
<b>英語</b> <b>(計4回)</b>	<p>まず、英文読解に必要な文法事項(関係詞・接続詞・不定詞など)に焦点を当て、選択問題や基本例文の英訳に取り組み、英語を組み立てることのできるレベルに引き上げます。また、読解に取り組み、文法知識を使ってセンテンスをしっかりと把握し、パラグラフごとに意味を取るトレーニングを実施します。併せて、休業期間を利用して徹底的に語彙力の増強を図ります。上位クラスではこの段階で英検2級に目処をつけさせます。</p>
<b>数学</b> <b>(計4回)</b>	<p>1～2学期の内容は、高校数学の決め手となりうる重要な分野が目白押しだったのです。とりわけ2次関数や三角比で弱点があるあなた、数Ⅱ・Bで苦労します(だからここで徹底して詰め直しませんか)。いやいやその分野は大丈夫!なあなた、ここで一気に難関入試にチャレンジしてみませんか(確固たる自信と入試のイメージがくっきりと見えます!)。授業だけではなく、自習用の課題も追加で配布しますので、ある程度の勉強時間を確保していただきます。</p>
<b>国語</b> <b>(計4回)</b>	<p>古典文法にフォーカスし、しっかりマスターしておくべき知識事項を総まとめにして、総復習しつつ、実際に読解(記述)させ、古典の勉強方法はここで完成です・・・というより、実はこれで高校古典に必要な7割の文法・単語は終わられるのです!この4日で詰めて、自宅ですっかり反復して、自習用教材を仕上げたら・・・年明けから、古典の出来る人になります(させます)。</p> <p>※冬期講習は、短期集中のため、古典を中心として取り扱いますが、毎回現代文のエッセンスの授業を取り入れます。</p>

### 中高一貫校中学3年生向け講座

開講科目	講義内容
<b>英語</b> <b>(計4回)</b>	<p>中学3年間のまとめを行います。文の作りを理解する文法的内容については、単元を横断してランダムに問題に取り組み、ここまで学んだ知識を自在に使える力を磨きます。また、長文読解に取り組み、文法的知識を文章の読みの中で活かしていく力を磨き、英検や模試などの総合問題での得点を伸ばす土台を作ります(クラスによっては高校内容に踏み込んで学習します)。</p> <p>この時期にしっかりと復習をしておかないと、高校受験組に大きく学力差をつけられることになります。時間的余裕のある今がチャンスです。</p>
<b>数学</b> <b>(計4回)</b>	<p>中学での学習内容のまとめを実施します。まず、すべての土台となる計算力の強化を進めます。計算に思考の時間を取られているようでは数学の力の向上は見込めません。単元別の内容としては、高校の学習の基礎となる関数(一次・二次)と三平方の定理や三角比(高校内容を扱っている学校の生徒)を中心に扱います。基礎的な問いはもちろん、解答の過程を考える必要のある発展的な問いに豊富に取り組み、模試などで対応できる力を伸ばします。自習用課題も配布しますので、徹底した反復が可能です。</p>

### 中高一貫校中学2年生向け講座

開講科目	講義内容
<b>英語</b> <b>(計4回)</b>	<p>助動詞、接続詞、不定詞、比較を中心に、センテンスの長くする要素を的確に使いこなせるように復習します。単純な選択問題ではなく、和文英訳を中心に扱い、英語で表現する力の幅を広げていきます。ここを抑えると中3の学習内容は格段に楽になります。また、ここまでの学習で読み解くことのできる読解問題を扱います。</p> <p>動詞の過去分詞や語彙・熟語など知識の強化にも取り組み、英検等の資格試験に備えます。</p>
<b>数学</b> <b>(計4回)</b>	<p>これまでのまとめを実施します。まずは計算力の強化。正確さとスピードに向上させます。単元別内容では、関数と平面図形を中心に扱います。特に関数については今後の数学学習にとってポイントになるので、基礎のおさらいから、座標を文字で置くといった処理の必要な発展的な問題に多数触れます。授業内容を復習する自習用課題も準備していますので、取り扱う単元を中心に短期間での実力アップを目指します。</p>

## 中高一貫校中学 1 年生向け講座

開講科目	講義内容
英語 (計 4 回)	英語学習で最初の高いハードルとなる、疑問詞疑問文を中心に、be 動詞と一般動詞の区別や時制を取り扱います。 基礎的な内容ではありますが、この部分を間違えることなく速く処理できる力は今後の英語学習の土台となります。徹底的に身に付けてもらいます。 また、英検等の試験に備えて、語彙の増強に取り組みます。
数学 (計 4 回)	これまでの復習を中心に取り組みます。まず第一に、計算力の向上に取り組みます。正負の数、文字式、方程式を取り扱う力を磨きます。単元別では、方程式の文章題、関数、空間図形を中心に進めます。文章題は必要な文字を使って式で表現する力、関数では図形的な要素を組み込んだ問題に対応する力、空間図形は問いを解くために正確な図形をイメージする力を磨きます。いずれも今後の数学学習の基本となるテーマです。授業外では、自習用の課題を用意していますので、授業で取り扱った内容をしっかり復習してもらいます。

## 受講料 (外部生)

受講料は、選択された講座のトータルの受講回数に応じて計算をいたします。また、この受講料には、教材費等の諸経費はすべて含まれています（講習会のみ場合は、入会金等はありません）。

### ●受講料 4 回あたり単価表

受講講座数	受講料 (税込)
クラス 120 分×4 回あたり (高 1・高 2)	¥26,000 (¥28,600)
クラス 120 分×4 回あたり (中 1～中 3)	¥24,500 (¥26,950)

## 申込方法

- 外部生：WEB サイトのお問い合わせフォームよりご連絡ください。
- 個別授業はこの要項とは異なります（通常授業に準じます）。

### 冬期講習会受講特典

- ・3 学期以降継続受講の場合、入会金免除